

2025年3月期 第3四半期決算及びシステム障害に関する質疑応答集

【2025年3月25日】

当社の2025年3月期 第3四半期決算に関して、これまで株主の皆様や投資家などの方々からいただいたお問い合わせをまとめましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正をしております。

また、本質疑応答は2025年3月25日時点の内容となります。システム障害の復旧・正常化に向けては日々対応を進めており、最新情報は当社ホームページ又はIRサイトを通じて随時お知らせしてまいります。

Q1. 2025年3月期 3Q決算発表（2025年2月7日）以降の株価の下落について、どのように認識していますか。

A1. 3Qの業績も堅調に成長を継続できており、概ね想定通りの決算であったと認識しております。決算発表後の株価の下落については以下の2点が要因と考えております。

1点目は、3Qの営業収益が2Qの決算と比較してやや弱く見えていることでございます。しかし、Y o Yで比較すると2桁成長を達成できております。

2点目は、2025年2月5日の開示にてお知らせしたとおり、[当社子会社においてシステム障害](#)が発生していることでございます。システム障害発生後も、ほぼ通常どおりの営業活動を継続できており、現時点で業績に与える影響は軽微と考えております。本件に関する現時点の状況は、2025年3月24日に開示した「[（第3報）当社子会社におけるシステム障害発生について](#)」をご参照ください。また、今後の状況につきましては、当社HPの[ニュース](#)にてお知らせいたします。

Q2. 2Qの営業収益が好調であった要因について教えてください。

A2. ファイナンス事業のサービス子会社の業績が非常に好調であったことが主な要因でございます。

Q3. 2025年2月5日に開示されたシステム障害について、「2025年3月期 通期業績への影響は軽微」とありますが、具体的な影響はどの程度であるか教えてください。

A3. システム障害発生後も、ほぼ通常どおりの営業活動を継続できており、取扱高への大きな影響はないと想定しております。そのため、2025年3月期の連結業績予想は、すでに公表しております税引前利益80億円から変更する予定はございません。今後、業績への影響が大きくなる等、開示が必要な事象が生じた場合には、速やかに公表いたします。

Q 4. システム障害は、どの程度の費用が掛かるのか、また、その影響は来期以降に及ぶのかを教えてください。

A 4. 来期以降の費用について精査を進めておりますが、システムの一部改修を含め、一定の費用は発生するものと考えております。これらの費用は、継続的な事業運営と更なる改善のために必要な投資と考えておりますため、今後も一定の費用が発生すること、ご理解賜りますようお願い申し上げます。今後、同様の問題が発生しないよう再発防止策を徹底するとともに盤石なシステム構築を進めてまいります。

Q 5. システム障害の復旧見込みについて教えてください。

A 5. システム障害の主要原因は特定済みで、現在、該当プログラムの修正を順次進めており、誤請求を含む主たる障害は概ね解消しております。これまでにプログラムミスの影響を受けた契約につきましては、対象となるお客様に個別に連絡を行っており、来月中を目処に影響の修正が完了する予定でございます。

引き続き、当社グループ一丸となって一日も早い復旧・正常化に向けて取り組むとともに、本事象の進捗について適宜ご報告いたします。

Q 6. システム障害の原因及び再発防止策について教えてください。

A 6. 一部のシステムプログラムが原因であることを特定しており、現在はその修正対応を進めております。一部の業務においては、品質を担保する目的で、限定的に確認プロセスを強化する等の補助的な対応を行っており、サービス提供に支障がない状態を確保しております。引き続き、修正対応を行うとともに、具体的な再発防止策を検討し実行に移してまいります。同様の問題が再び発生しないよう、万全の対策を講じることを目指したいと考えております。

Q 7. 金利が急激に上昇していますが、事業に与える影響はありますか。

A 7. すでに契約済みのクレジット債権は固定金利であり契約時に確定しているため、影響はございません。また、新規に契約するクレジット債権についても機動的に金利等に転嫁をしていくことで当社のスプレッドを維持するため、当社の主事業であるクレジット事業への影響は僅少でございます。

※詳細は「[2025年3月期 第3四半期決算説明資料](#)」のP. 30をご覧ください。

Q 8. 通期の業績見通しについて、営業収益の進捗率が少し弱いですが、その要因を教えてください。

A 8. 2024 年 12 月 5 日の開示にてお知らせしたとおり、[M&Aの検討を中止](#)しております。
2025 年 3 月期の連結業績予想の営業収益に本M&Aによる収益を含めていることが要因でございます。しかし、本M&Aによる収益を差し引いて考えると、概ね計画通りに推移しております。なお、税引前利益には本M&Aによる利益を含めていなかったため影響はありません。

以上

【お問い合わせ先】

プレミアグループ株式会社

グループ経営管理本部 IR部

お問合せフォーム：<https://ir.premium-group.co.jp/ja/privacy.html>